

子どもたちがよく使うインターネットツールとその特徴について

埼玉県教育委員会

私たちの生活にますます身近になったインターネット。最近では、自分専用のインターネット機器を持っている子どもたちも増え、調べ物をしたり、友だちと会話したり、ゲームをしたりと、子どもたちの生活にとって欠かせないものとなっています。

しかし、実際に子どもたちがふだん使っているサイトやアプリがどんなものかご存じない方も多いのではないのでしょうか。そこで今回は、子どもたちがよく使うインターネットツールとその特徴についてお話ししたいと思います。

SNS

子どもたちがよく使うインターネットツールとしてまず挙げられるのが、SNSです。SNSとは、自分がしていることや感じたことを書き込んだり、動画や画像を投稿したりできるサービスで、それらの投稿を通じて友だちや共通の趣味を持つ人と交流することができます。速報性や拡散性が非常に高く、リアルタイムで最新の情報を入手できることが大きな特徴です。

子どもたちの使い方

- ・趣味や部活、勉強などに関する情報を収集する
- ・友だちとコミュニケーションをとる
- ・日記のようにその日あったできごとなどを投稿する



注意点

子どもたちの多くは、自分の投稿が知らない人にも見られているという意識が希薄であるため、問題のある投稿をしてしまい、その結果、炎上してしまうことがよくあります。

また、プロフィール欄にフルネームや学校名、顔写真などの詳細な個人情報を載せている子どもたちもよく見られます。

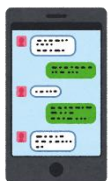
他にも、SNS上には誤った情報も多いため、真に受けて拡散してしまわないよう注意する必要があります。

無料通話アプリ

他に、子どもたちがよく使っているツールが、無料通話アプリです。主な機能としては、メッセージ機能と通話機能があり、利用者同士が無料でメッセージ交換や通話をすることができます。メッセージ機能では文字だけでなく、画像や動画などを送信することもでき、また、グループを作って複数人でやりとりすることも可能です。メッセージ交換や通話以外にも、自分の近況などを友だちに共有できるタイムラインという機能があり、設定によって自分の投稿を誰でも見られるようにできるものもあります。

子どもたちの使い方

- ・仲のいい友だちと1対1でメッセージ交換をしたり、通話をしたりする
- ・クラスメートや同じ部活の部員、仲のいい友達などでそれぞれグループを作り、連絡事項を共有したりおしゃべりをしたりする



注意点

1対1やグループでのメッセージ交換では、外部からやりとりを見ることのできないので、いじめが起こりやすいという問題点があります。

また、文字でのやりとりは誤解が起こりやすく、ささいなことからけんかなどのトラブルにつながってしまうこともあります。

タイムラインでの自分の投稿に対して、悪意を持った大人が同年代の人物を装ってコメントを残し、言葉巧みに誘い出されてしまう、といった可能性があります。

子どもたちは目的や用途に合わせてSNSや無料通話アプリを使いこなしている一方で、誤った使い方をしてトラブルに巻き込まれてしまうこともあります。子どもたちの利用方法をふまえて、学校全体で注意点を指導していくことが大切です。